

# 生徒の非行化を阻止するために学校が独自にとりうる措置と、 家庭・関係機関・地域社会との連携 (IV)

—1980年代と90年代の「非行化の波」2つを卒業生の体験聴取から検証する—

金丸 純二 見藤 孝二 小原 友行 畑 浩人

## 1. 今回の課題：生徒の視点から「波」を検証

これまでに我々が一連の共同研究で行った「非行化の波」の検証作業(文献1)では、学校で管理職にあった教員らの個人的な体験を中心に生徒指導の実態を描きだし、今後の対策を模索してきた。今回は視点を変えて、生徒側に立場をおく。とくに学校が荒れていたと思われる時期の生徒側の体験を再構成することを通じて、当時の生徒指導とその対象である学園生活の実態や変化とを確認することで、将来の生徒指導の参考に供したい。

端的に言えば、1980年代と90年代の学園状況に差異があったのかどうか(文献2)、もしあったとすれば、その違いはどのような性質のもので、何に由来するものなのか(文献3)を証拠に基づいて精確に認識することが今回の研究課題である。

## 2. 調査の方法と経緯

社会一般に少年の問題行動が比較的多かった時期における附属学園生徒らの一般的な状況認識を把握するため、今回は無作為抽出の質問票調査と面接調査を試みることにした。ただし、後者については、在校当時の認識が簡単な調査によりどの程度まで発掘でき、再現可能なかを把握するために、問題行動の当事者であった人物をまず特定して依頼したので、いまだ標本数が少なく予備的なインタビューにとどまっている。

以下、それぞれの調査の方法と経緯を説明する。

### <アンケート調査>

費用と情報処理能力などの制約から、今回は1980年代と90年代とで調査対象を次のような方法で限定した。

非行統計上の知見と現職教員の印象から1983年ころと1999年ころが荒れのピークに当たるとと思われるの

で、その時期を挟んで附属三原学園において中学校生活を送った卒業生を調査対象に絞った。

まずは1982年3月卒業生から1987年3月卒業生までと、1997年3月卒業生から2002年3月卒業生までの各6回生分を対象にした。そして、各学年2学級・約80名ずつの連絡先が掲載されている卒業生名簿(文献4)から、各学年男女10名ずつを名簿掲載順に抽出した結果、各学年20名の12学年分、合計240名へ質問票を郵送することになった。

彼らが体験した学園生活は、1979年4月から1987年3月までの8年間と、1994年4月から2002年3月までの8年間である。もちろん、各8年間のうち、最初と最後の2年ずつは3学年全体の体験が揃っていないわけではないので、これらの時期を網羅したとまでは言えず、最初と最後の2年ずつは方法上、データの記述内容が浅くなりうることに注意しなければならない。

質問票(後掲)は面接調査の一部を先行させたために作成が遅れて2006年12月9日に発送した。すると約80通が転居先不明や住居表示の変更などの理由で戻ってきたため、発送対象を後順位の者に変更したり、住居表示を更新したりするなどして未到達分の質問票をすべて再発送した。それでも80年代卒業生の14通分は宛先へ到着しなかったため、期限の制約から発送作業はここで打ち切った。

依頼文(後掲)では12月末をいちおうの返信期限にしておいたものの、質問票が元生徒の実家宛に到着している場合には正月の帰省時に回答してもらえると想定していたので延期した。すると確かに返信分のうちの半分以上が正月明けに届いたので、1月12日までの到着分76通を今回は集計した。

その結果、表1のとおりの回答率となった。

回答率の分布を解釈すると、80年代のほうにやや回

---

Junji Kanamaru, Kouji Mitou, Tomoyuki Kobara, Hiroto Hata : What are our school's proper actions and its cooperation to students' families, the related agencies, and their community in order to prevent students from turning to wrongdoing? — The questionnaire and interview researches on two delinquent waves in the early 1980's and late 1990's to the graduates of a junior high school affiliated with a university —

答が少なく、兩年代を通じた男女差もあって、女性の方がやや比率が高かった（ただし例外的な学年もある）。今回の回答分について調査対象全体の代表性が具備されているのかどうかは指標がないので不明だが、ある程度のバラツキもあり、この他に過去に関する客観的な情報を得る代替手段もないので、さしあたりはこれらを当時の認識を再現する基礎データとするしかない。

当初は、質問票の内容が自他の否定的な行動の具体的な報告を執拗に求めるものであったがために、かなり低い回答率が予測されたものの、差出人と返送先名義人であるベテラン副校長に対する卒業生の厚い信頼（これは返信封筒などに添付された好意的な文章から容易に知られる）もあって、3割以上の回答を得ることができた。数量的にも数十通以上が集まっているので、大雑把ではあるが統計的な処理と分析も可能になったといえよう。

このように、発送作業中は、名簿の内容更新状況にいくつかの不備がうかがわれたため、回答率に不安を募らせる場面があったものの、この種の回顧調査を行う意義がまだ充分あることを示唆する結果が得られたのは、今後の研究展開にとっても幸いであった。

#### <インタビュー調査>

質問票の項目を検討するために予備的な面接調査を卒業生6名に対して行った。1980年代前半に在学していた2名と1990年代後半の4名である。80年代の1人は問題行動も活発だった男性、もう1人は勉学に励んだ方の男性である。90年代の3人は問題行動が旺盛だった男性集団で、もう1人は勉学意欲の強い教員志望の女性である。各年代において荒れを中心にした者と周辺で傍観していた者に対して4類型の聴取を90年代を対象に9月下旬と10月初旬に、80年代を対象に12月末と1月上旬に、それぞれ約2時間ずつ行った。

### 3. 調査結果の概要

#### <アンケート調査>

回答のうち数量化が可能な部分は、後掲の表2から表31までの各クロス表として、世代と性別の4類型に分けて整理した。

データをよくみると、各年代6年間ずつの経年変化が見受けられるかもしれないが、年度毎の回答数は少ないので各学年の代表性に欠けるため、今回の分析では、80年代と90年代とをそれぞれ一括した上で双方の世代間比較を中心に検討する。

まず、表2から表9までの各問題行動例は、主に90年代の逸脱行動をもとに列挙してみた。授業の中抜け、遅刻、校内喫煙、校外喫煙、空き家への侵入、校内で

のガラス割り、校内での消火器発射、構内の設備・備品の破壊について、80年代には皆無かほとんど見受けられなかった問題行動が90年代には発生している。ただし、同時期に半分近くの生徒がそのような逸脱を間接的にも見聞していないという知見もあるので、同じ学校生活を営んでいる者どうしの間に事実認識の相違があることは興味深い。

表10の学校内での暴力や喧嘩については、男性については世代間に差がなく、90年代の男性には見聞がやや多い程度であるが、対照的に80年代の女性については見聞が少なくなっている。以前はそれぞれの棲む世界が異なっていたのであろうか。

表11と表12は、教員の体罰に関するもので、80年代には横行していたようであるが、記述回答の具体例をみると、生徒自身もこれを「愛の鞭」として納得していることが多い。

これに対して、表13のように教員に対する暴力行為が90年代には発生し、表14のとおり、教師に対する悪態や暴言も90年代のほうがかなり頻繁で多くなっている。世代間で学校の雰囲気が全く異なっているのだといえる。悪態の例としては、あだ名で呼ぶことが多いが、罵倒や脅迫の言辞などもあったという（これらはおそらく面前ではなく、陰口の場合も含めてしまっているのかもしれない）。

表15の質問は、学校外での教員の影響力を確認してみたもので、表19の校外巡回との遭遇と併せて解釈すると、たまに教員と遭遇することがあっても、教室内や校内におけるほどの強い指導は以前からなかったということになる。

表16、表17、表18は校外での逸脱行動について、暴力・バイク・万引きを例に確認したものであるが、中学生のバイク運転と万引きについては90年代の方が目立っている。とくにバイクの無免許運転については機械の普及度が高まったのか、または加えて逸脱行動の低年齢化がまだ進んでいなかったせいであろうか、80年代には皆無であった。

表20と表21は、学校生活の乱れについて自他に分けて尋ねたものであるが、自己よりも周囲のほうが逸脱していると感じるのは一般人対象のアンケートとしては当然としても、80年代の男性については、なぜか逸脱感覚がすこぶ鈍くなっている。

これに対して、表23の他校の乱れについては、どの類型も半数前後が感じている。これが附属学校特有の感覚であるかどうかは同時期・同地区の公立学校の調査と比較してみないと判らない。

しかし、表22から表25、表27では、学校外の規律の乱れや社会的風潮の荒廃に対する当時の感覚に

ついて地理的範囲を変えながら尋ねてみた。総じて、自他の学校生活の場合と比較して乱れの印象が薄い。ただし、80年代の女性が社会について比較的高い不安を感じていた記憶があるという。記述回答の例示をみると、非行報道の影響を多分に受けたようである。また、90年代の女性にも同様な傾向がみられる。

つぎに、表26は、教員の生徒指導に対する卒業生の印象である。90年代男性のみが寛大だったという印象が強いのに対して、多数派である他の3類型は逆に厳しかったという記憶を持っている。対教師暴力や悪態などの反抗を行った生徒は一部のみだったろうが、記述回答をみると、特定の厳しい先生がきて、ようやく指導が徹底していったという例が複数挙げられている。それに較べて、教員一般が毅然とした態度がとれなかった面が生徒の目には寛大に映ったようである。また、表28の生徒指導方針の変化については、教員側にしてみれば、2つの世代でそれぞれ工夫や改革を実施したつもりであるが、当時は学年毎に指導対応を変えていたせいかわ周知不徹底に陥り、変貌の印象が薄まったのかもしれない。

表29と表30は、授業と生活指導の効果に対する評価を尋ねたものであるが、個別の指導が現在の生活のどの部分に生かされているかは答えにくかったようである（今後の面接調査での課題となろう）。ただ、生活指導よりも授業のほうが役立っているという比率が高いのは、それぞれに費やす所要時間が大幅に異なるため当然であろうか。また、総じて、90年代のほうが効果の少ないような数字になっているのは、人生経験が十年以上少ないから学校教育の効果を認識する機会が少ないためだろう。

最後に、表31は、面接調査への協力姿勢である。現在の住所地が遠距離であるために不可能という回答も典型であったが、半数前後が協力的なのは愛校心の表れかもしれない。ただし、3割程度の回答率のうちの半分にすぎないので数字を割り引いて解釈する余地がある。

記述回答の分析は他日を期したいが、90年代女性の自己報告において、他校の女生徒に呼び出されて対決したものの、けっきょく仲良しになったという事例があったことは興味深い。これに限らず、総じて、他校生との「決闘」とは称していても、所詮は思春期に旺盛な自己顕示欲の発露にすぎないのである。したがって、対決場所を学校外に選んでいても、河川敷とか城跡公園などの公共施設の一角であったり、けっきょくは大人の目に付きそうな場所を選択しているのだから、彼らなりに一定の自己規制が働いていた行動だったと解釈できる（文献5を参照）。

#### <インタビュー調査>

面接調査については、まずは当時の荒れを作った当事者と呼んだので、ほぼ教員側の認識と同様な内容が肉声をもって語られたにすぎない。逆に、当時、周辺にいた多数派の生徒による回顧の方が、当時の学校生活を精確に認識し、描写するうえでは重要な面もあると思われた。

非行の波のなかでの2世代の荒れは、数人どうして他校の生徒と喧嘩をするなどの共通点をもっているが、80年代のほうは体育会系クラブを基盤とする集団であったのに対して、90年代の逸脱グループは、あまり学園生活には根を下ろしていなかったようであった。80年代については生徒指導やクラブ顧問との関係も親密なものであり、彼らなりの理屈もあって、それを通そうとして見解の対立が生じ、問題行動に走っていたらしいのに対して、90年代のグループは当時の生徒指導の存在や意義自体を全部否定するような印象であったのは残念である。

とくに90年代の荒れについては、当事者からいくつかの事実関係については、その実行の着手をほぼ確認できたものの、動機や経緯の詳細についてはうまく聴取できなかった。これは、聴取者が初対面の人間であること、面接時に同時に居合わせた3名が回答を互譲してしまい、受け答えがうやむやになってしまったこと、一度にたくさんの事項を質問したために記憶喚起が時間の制約から困難であったことなどの事情が考えられる。さらに、回答者の年齢がまだ20代前半と若かったせいも、数年前の生徒時代の逸脱行動について客観的に分析したり総括したりできるような心境ではなく、依然として成長途上にあつて他人に回顧談をするような立場や視点をもつ段階ではなかったからかもしれない。この辺りの限界は、他の人物からも同じ事件について聴取したり、同じ人物に対する面接を繰り返すなどして克服していかなければならないだろう。

#### 4. 小括と今後の課題

1980年代前半ころと90年代後半ころとで問題行動の内容に違いがあり、生徒指導の態勢もうまく働かなくなっていたことが、新たに生徒側の視点から附属学園でも例証された。

すると、つぎの課題としては、その間の変遷について、いったいどのような過程を経て、荒れの性質が徐々に変貌し、生徒指導の態勢が機能しなくなったのかを検討する必要があるだろう。今回、費用などの制約から欠落してしまった、年号が昭和から平成に切り変わる数年間の学園生活の実態についても回顧的なアンケート調査を試みなければならない。

また、インタビュー調査についても、30名以上の卒業生から協力の意思表示を得ているので、質問票では尋ねきれなかった当時の回顧談をさらに聴取して、よりいっそう学園生活に関する厚い記述をめざして、生徒指導の基盤となるダイナミックな実態認識を充実させていきたい。

謝辞：否定的な項目について詳細な記述を求める煩瑣な質問票に対して真摯な回答を母校に寄せてくださった卒業生の皆様に厚くお礼申し上げます。

また、質問票データの入力作業には教育学部社会系コース3年生出口勝之君の協力を仰ぎました。ここに記して感謝の意を表します。

#### <参考文献>

- 1) 金丸純二ほか「生徒の非行化を阻止するために学校が独自にとりうる措置と、家庭・関係機関・地域社会との連携(Ⅱ):ある大学附属中学校が2度直面した『非行化の波』を検証する」学部・附属学校共同研究紀要32号101-110頁(2004年)及び、小原友行ほか「同(Ⅲ):公立中学校における「非行化の波」と附属学園生徒生活実態アンケート」同33号9-19頁(2005年)

- 2) 児童生徒の問題行動等に関する調査研究協力者会議「学校の『抱え込み』から開かれた『連携』へ:問題行動への新たな対応」(1998年)  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/hakusho/nc/t19980301001/t19980301001.html](http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/t19980301001/t19980301001.html) (とくに別紙1「事例による問題行動の特徴等の対比」において従来型の問題行動と新たなそれとの違いを図式化して指摘)
- 3) 少年の問題行動等に関する調査研究協力者会議「心と行動のネットワーク:心のサインを見逃すな、『情報連携』から『行動連携』へ」(2001年)  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/13/04/010410a.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/13/04/010410a.htm) (少年非行戦後第4の波や児童生徒の問題行動の背景や要因を指摘)
- 4) 広島大学附属三原学園同窓会名簿編集委員会『同窓会会員名簿』同園同窓会(2001年)
- 5) 金崎浩之『ヤンキー、弁護士になる』講談社(2004年)参照。これは主に1980年代の体験記であるが、44頁以下に他中学校への殴り込みの意義や経緯、63頁に暴走族や不良の自己顕示欲、95頁に公衆の面前でさえ同輩に対しては凶暴であっても、教員に対しては従順な態度を示すなどの規律が働いていた様子が淡々と描かれている。

表1 質問票調査の回答率

	1982年卒	1983年卒	1984年卒	1985年卒	1986年卒	1987年卒	合計
郵送数	20	20	20	20	20	20	120
到達数	15	17	20	20	16	18	106
うち女性	8	8	10	10	7	9	52
回答数	4	2	5	6	4	8	29
うち女性	1	2	3	3	3	4	16
回答率	27%	12%	25%	30%	25%	44%	27%
女性回答率	13%	25%	30%	30%	43%	44%	31%
男性回答率	43%	0%	20%	30%	11%	44%	24%

	1997年卒	1998年卒	1999年卒	2000年卒	2001年卒	2002年卒	合計	総計
郵送数	20	20	20	20	20	20	120	240
到達数	20	20	20	20	20	20	120	226
回答数	7	10	8	7	5	10	47	76
うち女性	4	6	4	4	3	5	26	42
回答率	35%	50%	40%	35%	25%	50%	39%	34%
女性回答率	40%	60%	40%	40%	30%	50%	43%	38%
男性回答率	30%	40%	40%	30%	20%	50%	35%	30%

表2 授業中の抜け出し

	よく見た	たまに見た	友人から聴いた	教員から聴いた	なし	標本数
80年代女性	0%	6%	0%	0%	94%	16
90年代女性	19%	38%	8%	0%	35%	26
80年代男性	0%	0%	0%	0%	100%	13
90年代男性	15%	45%	0%	0%	40%	20

表3 授業への遅刻

	よく見た	たまに見た	友人から聴いた	教員から聴いた	なし	標本数
80年代女性	0%	13%	19%	0%	75%	16
90年代女性	12%	40%	0%	0%	48%	25
80年代男性	0%	0%	0%	0%	100%	13
90年代男性	19%	24%	5%	0%	52%	21

表4 学校内喫煙

	よく見た	たまに見た	友人から聴いた	教員から聴いた	なし	標本数
80年代女性	0%	0%	13%	0%	88%	16
90年代女性	4%	38%	23%	0%	35%	26
80年代男性	0%	8%	0%	0%	92%	13
90年代男性	10%	19%	29%	5%	38%	21

表5 学校外喫煙

	よく見た	たまに見た	友人から聴いた	教員から聴いた	なし	標本数
80年代女性	0%	13%	6%	0%	81%	16
90年代女性	8%	38%	19%	0%	35%	26
80年代男性	0%	0%	0%	0%	100%	13
90年代男性	14%	29%	29%	0%	29%	21

表6 校外空き家への出入り

	よく見た	たまに見た	友人から聴いた	教員から聴いた	なし	標本数
80年代女性	0%	6%	0%	0%	94%	16
90年代女性	0%	4%	8%	0%	88%	26
80年代男性	0%	8%	0%	0%	92%	13
90年代男性	0%	5%	10%	0%	85%	20

表7 学校内のガラス割り

	よく見た	たまに見た	友人から聴いた	教員から聴いた	なし	標本数
80年代女性	0%	6%	0%	0%	94%	16
90年代女性	0%	19%	23%	0%	58%	26
80年代男性	0%	0%	0%	0%	100%	13
90年代男性	5%	33%	0%	0%	62%	21

表8 学校内の消火器発射

	よく見た	たまに見た	友人から聴いた	教員から聴いた	なし	標本数
80年代女性	0%	0%	0%	0%	100%	16
90年代女性	0%	12%	15%	0%	73%	26
80年代男性	0%	0%	8%	0%	92%	13
90年代男性	0%	24%	10%	0%	67%	21

表9 学校内の設備・備品を破壊

	よく見た	たまに見た	友人から聴いた	教員から聴いた	なし	標本数
80年代女性	0%	6%	0%	0%	94%	16
90年代女性	0%	35%	12%	0%	54%	26
80年代男性	0%	0%	0%	8%	92%	13
90年代男性	5%	19%	14%	5%	57%	21

表10 学校内の生徒間暴力

	よく見た	たまに見た	友人から聴いた	教員から聴いた	なし	標本数
80年代女性	0%	6%	13%	0%	81%	16
90年代女性	0%	46%	19%	0%	35%	26
80年代男性	0%	54%	0%	0%	46%	13
90年代男性	14%	52%	5%	0%	29%	21

表11 授業中の教員による暴力

	よく見た	たまに見た	友人から聴いた	教員から聴いた	なし	標本数
80年代女性	25%	25%	4%	0%	50%	16
90年代女性	0%	35%	4%	0%	62%	26
80年代男性	17%	58%	0%	0%	25%	12
90年代男性	5%	43%	5%	0%	48%	21

表12 休み時間中の教員による暴力

	よく見た	たまに見た	友人から聴いた	教員から聴いた	なし	標本数
80年代女性	13%	0%	0%	0%	88%	16
90年代女性	0%	27%	0%	0%	73%	26
80年代男性	0%	38%	0%	0%	62%	13
90年代男性	5%	24%	14%	0%	57%	21

表13 学校内での対教師暴力

	よく見た	たまに見た	友人から聴いた	教員から聴いた	なし	標本数
80年代女性	0%	0%	0%	0%	100%	16
90年代女性	0%	19%	12%	0%	69%	26
80年代男性	0%	0%	0%	0%	100%	13
90年代男性	0%	19%	10%	0%	71%	21

表14 学校内での対教師悪態

	よく見た	たまに見た	友人から聴いた	教員から聴いた	なし	標本数
80年代女性	0%	19%	0%	0%	81%	16
90年代女性	27%	42%	4%	0%	27%	26
80年代男性	0%	23%	8%	0%	69%	13
90年代男性	43%	33%	5%	0%	19%	21

表15 学校外での教員による暴力

	よく見た	たまに見た	友人から聴いた	教員から聴いた	なし	標本数
80年代女性	0%	0%	0%	0%	100%	16
90年代女性	0%	0%	4%	0%	96%	26
80年代男性	0%	0%	0%	0%	100%	13
90年代男性	0%	5%	0%	0%	95%	21

表16 学校外での生徒による暴力

	よく見た	たまに見た	友人から聴いた	教員から聴いた	なし	標本数
80年代女性	0%	0%	13%	0%	88%	16
90年代女性	0%	15%	12%	0%	73%	26
80年代男性	0%	8%	23%	0%	69%	13
90年代男性	5%	10%	14%	0%	71%	21

表17 生徒のバイク運転

	よく見た	たまに見た	友人から聴いた	教員から聴いた	なし	標本数
80年代女性	0%	0%	6%	0%	94%	16
90年代女性	0%	23%	23%	0%	54%	26
80年代男性	0%	0%	0%	0%	100%	13
90年代男性	5%	14%	19%	0%	62%	21

表18 生徒の万引き

	よく見た	たまに見た	友人から聴いた	教員から聴いた	なし	標本数
80年代女性	0%	0%	19%	0%	81%	16
90年代女性	12%	23%	31%	0%	35%	26
80年代男性	0%	8%	15%	0%	77%	13
90年代男性	5%	5%	48%	0%	43%	21

表19 地域行事での教師巡回遭遇

	よく遭遇	たまに遭遇	なし	行事不参加	標本数
80年代女性	0%	31%	56%	13%	16
90年代女性	4%	46%	46%	4%	26
80年代男性	0%	23%	69%	8%	13
90年代男性	5%	43%	48%	5%	21

表20 当時の学校生活の規律の乱れ感覚～自分について

	感じた	感じなかった	標本数
80年代女性	13%	88%	16
90年代女性	35%	65%	26
80年代男性	0%	100%	13
90年代男性	15%	85%	20

表21 当時の学校生活の規律の乱れ感覚～周囲について

	感じた	感じなかった	標本数
80年代女性	38%	63%	16
90年代女性	58%	42%	26
80年代男性	8%	92%	13
90年代男性	52%	48%	21

表22 当時の学校生活の規律の乱れ感覚～他校について

	感じた	感じなかった	わからない	標本数
80年代女性	69%	6%	25%	16
90年代女性	46%	12%	42%	26
80年代男性	46%	8%	46%	13
90年代男性	52%	10%	38%	21

表23 学校外における規律の乱れ

	感じた	感じなかった	標本数
80年代女性	25%	75%	16
90年代女性	27%	73%	26
80年代男性	15%	85%	13
90年代男性	24%	76%	21

表24 自宅近隣における規律の乱れ

	感じた	感じなかった	標本数
80年代女性	19%	81%	16
90年代女性	15%	85%	26
80年代男性	15%	85%	13
90年代男性	19%	81%	21

表25 社会一般における規律の乱れ

	感じた	感じなかった	標本数
80年代女性	44%	56%	16
90年代女性	23%	77%	26
80年代男性	23%	77%	13
90年代男性	10%	90%	21

表26 教員側の生徒指導姿勢

	厳しかった	寛大だった	とくに記憶なし	標本数
80年代女性	44%	13%	44%	16
90年代女性	42%	27%	31%	26
80年代男性	58%	17%	25%	12
90年代男性	14%	52%	33%	21

表27 荒唐した社会的風潮の感覚

	感じた	感じなかった	標本数
80年代女性	44%	56%	16
90年代女性	50%	50%	26
80年代男性	15%	85%	13
90年代男性	33%	67%	21

表28 学校内の生徒指導方針の変化

	感じた	感じなかった	標本数
80年代女性	0%	100%	15
90年代女性	15%	85%	26
80年代男性	8%	92%	13
90年代男性	33%	67%	21

表29 授業の効果に対する評価

	役立っている	役立たない	気づかない	標本数
80年代女性	67%	0%	33%	15
90年代女性	46%	12%	42%	26
80年代男性	75%	0%	25%	12
90年代男性	43%	10%	48%	21

表30 生活指導の効果に対する評価

	役立っている	役立たない	気づかない	標本数
80年代女性	33%	0%	67%	15
90年代女性	23%	19%	58%	26
80年代男性	38%	0%	62%	13
90年代男性	29%	10%	62%	21

表31 面接調査への協力

	してもよい	できない	したくない	標本数
80年代女性	50%	43%	7%	14
90年代女性	43%	33%	24%	21
80年代男性	64%	9%	27%	11
90年代男性	52%	43%	5%	21

<依 頼 文>

2006年12月吉日

広島大学附属三原中学校卒業生 各位

拝 啓

初冬の候、師走に入って一段と寒さが厳しくなってきました。卒業生の皆様におかれましては益々御清勝のこととお慶び申し上げます。

おかげさまで、来年春には当中学校も60周年の還暦を迎えることになりました。

また、2009年には三原女子師範学校創立以来百周年を、さらに2011年には附属小学校が創立百周年を迎えます。このように、世紀を超えた学校史の歩みが皆様の御成長と御発展とともに今後とも継続していけましたならば、小職らにとりましても限りなき幸せです。

さて、2002年度より、われわれは附属三原中学校と教育学研究科との間で、生徒指導に関する共同研究を進めております。

研究題目は、少し長いですが、「生徒の非行化を阻止するために学校が独自にとりうる措置と、家庭・関係機関・地域社会との連携」というものです。今年度は、1980年代と90年代にあったと言われる「非行化の波」とその対策を、卒業生の皆様から当時の御体験を聴取することを通じて検証し、今後の生徒指導に生かしていければと思っております。

一般に統計を確認したり、個人的な教員経験を思い返したりしますと、約10年ごとに非行化の波が襲ってくるような気がしますが、これは適切な感覚でしょうか？

あいにく教員側の視点のみでは一面的で不正確になりがちですので、当事者であった生徒さんの視点を補充したいと思います。どうか御協力いただけましたら幸いです。

今回の対象は、費用と作業能力の都合から、34回から39回卒業生と49回から54回卒業生の名簿から各学年若い順番の男女各10名、合計240名の方々を無作為に選ばせてもらっています。

御回答いただいたアンケート用紙は、返信用封筒に入れて郵便ポストへ投函して下されば結構です。

処理の都合上、御回答は今月12月末までに返送して頂けますと助かります。もし、御本人様が御実家に御不在の場合でしたら、御無理はなさらず帰省時などのお暇な折にでも記入して下さい。時期的にも御多忙でありましようから、お正月明けになったとしましても、お返事がいただければ、それだけで満足です。

回答結果は匿名で処理し、研究目的にしか使用しません。整理の都合上、番号だけはふらせて頂いております。また、公表時にはプライバシーにも充分配慮して回答内容を慎重に取り扱いますので、個人情報保護の面ではどうか御安心ください。

なお、アンケートの紙数が少ない場合には別紙を添付して頂いても構いません。さらに、細々と書くよりも、往事を振り返って回顧談を語ってみたい、実は学校側に言っておきたいことがあるという御方がいらっしゃれば、こちらで直接お会いしてお話をうかがう「インタビュー調査」の機会も設けております。

とくに、そのような御希望がございましたら、お気軽に御一報ください。

それでは、用件のみで恐縮ですが、失礼します。

敬 具

広島大学附属三原中学校・副校長 金丸 純二  
広島大学大学院教育学研究科・講師 畑 浩人

連絡先：〒723-0004 三原市館町2-6-1 電話 0848-62-4777  
(金丸へ直通)

※電子メールの場合は、畑宛 [hato@hiroshima-u.ac.jp](mailto:hato@hiroshima-u.ac.jp) でも結構です。  
(「はと」です)

<生徒の非行化防止の方策とその効果を探る、学部・附属学校共同研究アンケート>

※A 4版 2枚、表裏両面記載で全部で4頁あります。 (整理番号 )

主に附属三原学園在学時の御体験と、現在のお立場からの御意見をうかがいます。

調査の目的は、当時の学校生活に関する教員側と生徒側の事実認識の異同を検証するものですので、卒業生という自由なお立場から率直に御回答いただけると助かります。

選択肢のある設問には該当部分に○印をつけ、記述欄には具体的にお書き下さい。

A <当時の荒れの認識>

1 下記のような場面を目撃したことがあるかどうかお答え下さい。(複数回答可)

a. 授業中に生徒が教室を抜け出した

(1. よく見た 2. たまに見た 3. 友人から聞いた 4. 教員から聞いた 5. なし)  
いつ頃の出来事ですか?→(中1・中2・中3・その他( ))

「見た」場合 →(1. 自分も関与した 2. 他人がしただけ 3. 自他ともに関与)

b. 授業にわざと遅刻した

(1. よく見た 2. たまに見た 3. 友人から聞いた 4. 教員から聞いた 5. なし)  
いつ頃の出来事ですか?→(中1・中2・中3・その他( ))

「見た」場合 →(1. 自分も関与した 2. 他人がしただけ 3. 自他ともに関与)

c. 学校内で煙草をすった

(1. よく見た 2. たまに見た 3. 友人から聞いた 4. 教員から聞いた 5. なし)  
いつ頃の出来事ですか?→(中1・中2・中3・その他( ))

「見た」場合 →(1. 自分も関与した 2. 他人がしただけ 3. 自他ともに関与)

d. 学校外で煙草をすった

(1. よく見た 2. たまに見た 3. 友人から聞いた 4. 教員から聞いた 5. なし)  
いつ頃の出来事ですか?→(中1・中2・中3・その他( ))

「見た」場合 →(1. 自分も関与した 2. 他人がしただけ 3. 自他ともに関与)

e. 学校外の空き家に入り込んで、なかで遊んだ

(1. よく見た 2. たまに見た 3. 友人から聞いた 4. 教員から聞いた 5. なし)  
いつ頃の出来事ですか?→(中1・中2・中3・その他( ))

「見た」場合 →(1. 自分も関与した 2. 他人がしただけ 3. 自他ともに関与)

f. 学校内でガラスを割った

(1. よく見た 2. たまに見た 3. 友人から聞いた 4. 教員から聞いた 5. なし)  
いつ頃の出来事ですか?→(中1・中2・中3・その他( ))

「見た」場合 →(1. 自分も関与した 2. 他人がしただけ 3. 自他ともに関与)

g. 学校内で消火器を発射した(火事でもないのに)

(1. よく見た 2. たまに見た 3. 友人から聞いた 4. 教員から聞いた 5. なし)  
いつ頃の出来事ですか?→(中1・中2・中3・その他( ))

「見た」場合 →(1. 自分も関与した 2. 他人がしただけ 3. 自他ともに関与)

h. 学校内で設備・備品を壊した

(1. よく見た 2. たまに見た 3. 友人から聞いた 4. 教員から聞いた 5. なし)  
いつ頃の出来事ですか?→(中1・中2・中3・その他( ))

「見た」場合 →(1. 自分も関与した 2. 他人がしただけ 3. 自他ともに関与)

どのような設備・備品ですか? ( )

<裏へ続きます>





2 あなたが本校に在学していた当時、学校生活において規律の乱れを感じましたか？  
自他に分けてお答えください。該当する方へ○をつけてください。

当時の自分について ( 1. 感じていた 2. 感じていなかった )

当時の周囲について ( 1. 感じていた 2. 感じていなかった )

3 もし、規律の乱れを感じたのであれば、典型的な事例を1つ具体的に教えて下さい。

いつごろ ( )

どこで、どのような場面で ( )

どのような出来事があったのか ( )

( )

4 あなたが本校に在学していた当時、他の学校において規律の乱れを感じましたか？

( 1. 感じた 2. 感じなかった 3. わからない )

→ もし、感じたのであれば、典型的な場面を具体的に記して下さい

( )

( )

5 あなたが本校に在学していた当時、通学路など校外において規律の乱れを感じましたか？

( 1. 感じた 2. 感じなかった )

→ もし、感じたのであれば、典型的な場面を具体的に記して下さい

( )

( )

6 あなたが本校に在学していた当時、自宅近隣において規律の乱れを感じましたか？

( 1. 感じた 2. 感じなかった )

→ もし、感じたのであれば、典型的な場面を具体的に記して下さい

( )

( )

7 あなたが本校に在学していた当時、社会一般において規律の乱れを感じましたか？

( 1. 感じた 2. 感じなかった )

→ もし、感じたのであれば、典型的な場面を具体的に記して下さい

( )

( )

8 在学当時、教員側の生徒指導に臨む姿勢は、総じてどのように感じられましたか？

( 1. 厳しいと感じた 2. 寛大だと感じた 3. とくに記憶していない )

→ とくに印象に残った生徒指導の事例があれば、記して下さい

( )

( )

( )

9 中学校在学当時かその前後に、校内暴力や少年非行が社会問題になりましたが、  
御記憶の範囲で結構ですので、当時の中学生の視点から自由にお答えください。

そのような荒廃した社会的風潮を ( 1. 感じた 2. 感じなかった )

→ もし、感じていたのであれば、典型的な事例を具体的に記して下さい

( )

( )

( )

10 在学当時、附属学校内の生徒指導方針について何か変化を感じましたか？

( 1. 感じた 2. 感じなかった )

→ もし、感じていたのであれば、その具体的な内容を記して下さい。

( )

( )

B < 附属学校に対する御意見 >

1 現在のあなたは、どのような地位にいますか？

( 1 学生, 2 会社員, 3 自営業, 4 公務員, 5 教員, 6 団体職員,  
7 フリーター, 8 無職, 9 その他 ( ) )

2 附属学園で受けた授業の効果に対する評価をしてみてください。

( 1. 現在の自分に役立っている 2. あまり役立たない 3. とくに気づかない )

→ 1に○をされたら、どのような場面で役立っていると感じられたのか教えてください。

( )

( )

3 当時附属学園で受けた生活指導に対する評価をしてみてください。

( 1. 現在の自分に役立っている 2. あまり役立たない 3. とくに気づかない )

→ 1に○をされたら、どのような場面で役立っていると感じられたのか教えてください。

( )

( )

4 当時のクラスの雰囲気について良い面も含めて簡潔に表現してみてください。

( )

( )

5 当時の附属学校全体の雰囲気について良い面も含めて簡潔に表現してみてください。

( )

( )

6 当時の他校との交流について記憶に残るエピソードがあれば、教えてください。

( )

( )

7 附属出身の友人関係は、みなさんの成長につれて、どのようになっていますか？

( 1. 今も交流している 2. たまに会う程度 3. 全く付き合いがない )

( 4. 同窓会があれば参加している 5. その他 ( ) )

8 現在の附属学校の活動や雰囲気に対して何かお気づきの点があれば記して下さい。

( )

( )

9 面接調査（インタビュー）への御協力を機会があればいただけますか？

( 1. してもよい 2. できない 3. したくない )

☆数多くの細かい質問への御協力どうもありがとうございました。 (整理番号 )